



理事長 小林 寿夫



新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、令和 8 年のお正月を健やかにお迎えになったこととお喜び申し上げます。

昨年は、55 年振りとなる大阪万博の開催、女性初となる高市内閣総理大臣の誕生など明るい話題もありました。一方で長嶋茂雄氏、尾崎将司氏、釜本邦茂氏といった昭和からのスポーツ界を代表するスターたちが亡くなるといったニュースを聞くと時代は確実に動いているのだと実感させられます。今年は冬季オリンピックやサッカーワールドカップが開催され、今から楽しみです。

今年の干支は有名な丙午（ひのえうま）です。前回丙午の 1966 年には、迷信により出生率が 25% 低下し翌 1967 年には急回復したそうです。江戸時代から伝わる俗説が昭和時代まで強く影響していたというのは、最近の SNS 上などのフェイクニュースの氾濫と共通するような気がします。

なごみ苑を取り巻く環境に目を向けますと今年もまた、生活や企業経営を圧迫する物価高問題や雇用問題をはじめ、多くの困難が待っています。このような厳しい環境であるからこそ、なごみ苑設立の基本理念を大切に、正直で地道な努力をして行こうと思います。必ず結果はついて来ると信じています。

なごみ苑関連施設を含めまして、従来の施設に劣らず地域の皆様に愛される施設を目指して、精進を重ねるつもりで、スタッフ一同張り切っております。本年も冷静に状況を見極め、周囲の勢いや雰囲気流されずに地に足をつけて頑張りたいと思います。

新しい年もなごみ苑にとってよい年でありますように、また皆さんにとっても素晴らしい年でありますよう祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

施設長 佐々木 正



明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

能登半島地震から 2 年。能登の人口は流出、復興にはまだまだ時間がかかります。応援支援をよろしくお願いします！

なごみ苑は、今年 4 月 8 日、満 37 歳になります。剣を背に富山湾を眼前に、介護老人保健施設として市民住民そして職員をガード&サポートしてきました。心から感謝しています。建物が疲労困憊、勇退の件は理解していますが内装が代わっても土台や柱、壁は自然災害にも微動だにしないで笑っています。自然年齢と肉体年齢は違います。あなたはまだ十分に若いです！リニューアルの計画も徐々に進んでいます。もうしばらくのご辛抱とご協力をお願いします。

2025 年 5 月 8 日、新型コロナウイルス感染症が 2 類から 5 類感染症になり、緊張と呪縛の日々から解放され、大分身軽になりました。また、協力医療機関滑川病院との連携が進み、診断、治療、介護の流れがスムーズになったように思います。しかし、喫緊の課題は利用者の確保、スタッフの確保（新採、離職の補充）です。ICT の活用、介護ロボットの導入も並行する課題です。医療機関や介護施設の経営難が全国的に報じられています。今年は介護保険改定されますが我慢と忍耐は続きます。また、心が折れそうになります。利用者とその家族が浮かびます。“絶望の隣に希望がある！” 再び気を取り直して『野町』に向かう皆さん、心から感謝いたしております。ありがとうございます。

昨年 10 月、高市内閣が発足、わが国初の女性の内閣総理大臣が誕生しました。内外に問題が山積する中、政治への信頼は失われ、政党支持率は低迷していますが高市首相支持は高く維持されています（就任後 3 か月）。耳掃除をして国民の声をよく聞いてください！ ウマーい舵取りをよろしくお願いいたします！